

# 実 施 案 内

## 【陸上の部】

# 目

# 次

	ページ
1 日 時	1
2 場 所	1
3 主催等	1
4 運営体制	1
5 訓練項目・参加隊員数	1
6 次 第	2
7 訓練実施要領及び進行要領	2
8 運営要領	2
9 開会式要領	5
10 閉会式要領	6
11 訓練結果	7
12 昼 食	7
13 都県連絡員の任務等	8
14 審判員の任務等	8
15 指導会中止時の連絡等	8
16 宿泊及び昼食の申し込み	9
17 訓練施設の開放	9
18 調査票の回答等	9
19 その他	10
別表1 審判員訓練種目分担表	11
別表2 訓練進行表	12
別図1 会場アクセス	13
別図2 会場周辺案内図	14
別図3 移動経路図（隊員乗降及び資器材搬入場所～指定駐車場）	15
別図4 隊員待機場所（富士見市立市民総合体育館）	16
別図5 ウォーミングアップ場所（文化の杜公園）	17
別図6 主会場詳細図	18
別図7 東消防署庁舎詳細図	19

別図 8	指導会役員・参会消防長・来賓控室	20
別図 9	開閉会式整列隊形図	21
別図10	施設開放詳細図	22
別図11	施設開放移動経路図（訓練会場～指定駐車場）	23
別添 1	訓練進行要領	24
別添 2	訓練施設概要	34
様式 1－1～3	出場隊員名簿	41
様式 3	隊員変更届出書	44
様式 4	訓練用具借用調査票	45
様式 5	服装（同一仕様）に係る報告書	46
様式 6	訓練施設開放参加調査票	47

## 第54回消防救助技術関東地区指導会（陸上の部）実施案内

### 1 日 時

令和8年7月17日（金） 9時30分から16時00分まで（小雨決行）

### 2 場 所

入間東部地区事務組合東消防署消防訓練場 富士見市鶴馬1850番地1

### 3 主催等

- (1) 主 催 一般財団法人全国消防協会関東地区支部
- (2) 後 援 全国消防長会関東支部
- (3) 主 管 埼玉県消防長会

### 4 運営体制

- (1) 指導会役員
  - ア 会 長 一般財団法人全国消防協会関東地区支部長
  - イ 副会長 一般財団法人全国消防協会関東地区支部都県支部長
- (2) 指導会委員 参会消防長
- (3) 審判役員
  - ア 審判長 さいたま市消防局長
  - イ 審判部長 さいたま市消防局警防部長
  - ウ 審判員 各都県担当消防本部職員

### 5 訓練項目・参加隊員数

「第54回消防救助技術関東地区指導会出場割当表」のチーム数及び参加隊員数は下表のとおりです。

訓練種別	訓練種目	チーム数	隊員数
連携	引 揚 救 助	24	120 人
	ロープブリッジ救出	28	112 人
	障 害 突 破	26	104 人
合計	336 人		
技術	前橋市消防局（群馬県）		

## 6 次第

### (1) 開会式

- 9:27 隊員入場
- 9:30 開会宣言 指導会副会長（さいたま市消防局 局長）
- 9:32 黙とう
- 9:33 国旗掲揚
- 9:35 挨拶 指導会会長（横浜市消防局 局長）
- 9:40 来賓祝辞 一般財団法人全国消防協会会長、富士見市長
- 9:50 隊員宣誓 隊員代表（さいたま市消防局 隊員）
- 9:53 隊員退場

### (2) 訓練

訓練の進行は、別表2「訓練進行表」のとおりです。

### (3) 閉会式

- 15:37 隊員入場
- 15:40 表彰
- 15:50 講評 指導会会長（横浜市消防局 局長）
- 15:55 国旗降納
- 15:57 閉会宣言 指導会副会長（前橋市消防局 局長）
- 16:00 解散

## 7 訓練実施要領及び進行要領

- (1) 訓練は、「第54回全国消防救助技術大会実施要領」（以下、「実施要領」という。）に基づき実施します。
- (2) 訓練進行については、別添1「訓練進行要領」のとおりです。
- (3) 訓練施設については、別添2「訓練施設概要」のとおりです。

## 8 運営要領

### (1) 会場案内 別図1参照

- ア 隊員乗降及び資器材搬入場所（富士見市役所第一駐車場）（別図2参照）
  - (7) 駐車場北東側の地下道については訓練隊員の導線となり、狭隘であることから車両での通行はお控えください。（別図3参照）
  - (4) 利用可能時間は6時45分から17時00分までとします。開門前に付近の路上で待機することがないように御配慮ください。
  - (5) 訓練隊員送迎バス等の乗り降り場としても御利用いただけます。  
資器材搬入及び隊員の乗り降りについては駐車場内にてお願いします。周辺道路への駐車（一時的なもの）は絶対におやめください。
  - (i) 搬入後は速やかに指定駐車場へ車両を移動させてください。（別図3参照）
- イ 隊員待機場所（富士見市立市民総合体育館）（別図2及び別図4参照）  
体育館は一般市民も利用しますので、下記の事項を厳守するようお願いいたします。
  - (7) 利用可能時間は7時00分から16時30分までとします。
  - (4) 館内は土足厳禁のため必ず室内履きを持参し、各自袋等を用いて履物を管理してください。体育館の下駄箱は使用禁止といたします。
  - (5) 正面玄関は一般市民専用となりますので、大会関係者は正面玄関脇の専用出入口

を使用してください。専用出入口にブルーシートを設置しますので、そちらで室内履きに履き替えてください。

- (イ) キャリーカート等の置き場所を、上記入り口付近に設けるので御利用ください。館内へ持ち込む場合は、必ず(ウ)に記載のブルーシート上で清拭してから持ち込んでください。
- (ロ) メインアリーナは飲食禁止ですので、飲食する際は必ず観覧席へ移動するようお願いいたします。
- (ハ) メインアリーナでの軽いランニング及びストレッチは認めますが、大声を出すなど休憩中の隊員の迷惑とならないよう配慮してください。  
なお、資器材を用いての訓練は一切認めません。
- (ニ) 更衣室内シャワー、喫煙所については使用禁止とします。
- (ホ) その他不明点等については、運営係員に御確認の上指示に従ってください。

#### ウ ウォーミングアップ場所（文化の杜公園）（別図5参照）

文化の杜公園は一般市民の方も利用しますので、下記の事項を厳守するようお願いいたします。

- (ア) 利用可能時間は7時00分から13時30分までとします。  
時間前の場所取りは固く禁止します。
- (イ) 使用可能場所以外でのウォーミングアップは固く禁止します。特に、公園内通路等でのウォーミングアップや資器材の配置等、市民利用を妨げる行為は厳に慎んでください。
- (ロ) 芝生上にウォーミングアップ用の資器材を設置することは認めますが、芝生が傷むことのないよう御配慮ください。
- (ホ) その他不明点については、運営係員に御確認の上指示に従ってください。

#### エ 一般見学場所（別図6参照）

一般見学場所は一般来場者優先とさせていただきますので、隊員等につきましては混雑時の御利用は御遠慮ください。

なお、一般見学場所の前に撮影場所としてブルーシートを設置いたしますので御活用ください。（椅子の設置は御遠慮ください）

また、テント内に車椅子及びベビーカー用見学席を御用意いたしますので御活用ください。

#### オ 救護所

救護所（用具返却場所兼用）を消防庁舎前に設置します。（別図6参照）

#### カ トイレ

- (ア) 一般見学者  
会場南東側の仮設トイレ及び訓練塔B塔1階のトイレを御利用ください。  
（別図6参照）
- (イ) 指導会役員・参会消防長・来賓  
上記(ア)及び庁舎3階トイレ（別図7参照）を御利用ください。
- (ロ) 隊員及び運営係員  
上記(ア)及び富士見市立市民総合体育館（別図2及び別図4参照）内トイレを御利用ください。

#### キ 更衣室

- (ア) 指導会役員・参会消防長・来賓  
消防庁舎3階大会議室（別図7及び別図8参照）

- (4) 隊員及び運営係員  
富士見市立市民総合体育館のメインアリーナ及び館内の更衣室を御利用ください。  
(別図2及び別図4参照)

ク 控室

- (7) 指導会役員・参会消防長・来賓  
消防庁舎3階大会議室(別図7及び別図8参照)  
(4) 運営係員待機場所 ※都県連絡員及び都県審判員含む  
富士見市立市民総合体育館2階会議室(別図4参照)及び消防庁舎車庫内(別図6参照) ※車庫内は救助部運営係員専用

ケ 弁当引き渡し場所

消防庁舎2階小会議室(別図7参照)

コ その他

授乳及びおむつ交換等が必要な場合は、庁舎内の施設を案内しますのでお近くの係員へお声かけください。

(2) 駐車場案内 別図2参照

ア 駐車場は第1から第4駐車場があり、車両区分等については、次表のとおりとします。

イ 第1駐車場及び第3駐車場の利用を希望する場合は、別途案内の「全国消防長会情報管理システム」からお申し込みください。

上記駐車場の利用申込みを行った消防本部には、事前に「全国消防長会情報管理システム」により駐車券を送付します。駐車券は印刷のうえ持参し、ダッシュボード上など、係員から見える位置に置いて御入場ください。駐車位置については係員の指示に従ってください。

なお、その他の駐車場については駐車券不要となります。

ウ 各駐車場は、指導会当日の決められた時間のみ駐車可能としておりますので、利用開始時間は厳守願います。

エ 一般見学者等については第2駐車場を御利用ください。

オ 2輪車及び自転車の駐輪場につきましては、富士見市役所第一駐車場内の一部を区画しますので、そちらを御利用ください。

カ 会場周辺での路上駐車は絶対にしないでください。隊員への差し入れ等、一時的な停車もご遠慮ください。

車 両 区 分	入庫時間	駐 車 場
指導会役員、来賓、運営本部員	7:00~	第1駐車場 (こぶしの里駐車場)
参会消防長、運営係員、 参加隊員、一般見学者	6:00~	第2駐車場 (ららぽーと富士見P1~P4駐車場) ※乗用車専用
資機材搬送車、隊員送迎バス等	7:00~	第3駐車場 (ららぽーと富士見P5平面駐車場) ※中型車以上専用
運営係員(準備員専用)	6:00~	第4駐車場 (JAいるま野等)
2輪車・自転車	6:00~	富士見市役所第一駐車場

(3) 服装・受付等

ア 服装及び受付時間等は、下表のとおりです。

※運営係員については別途通知します。

参 会 者	服装	胸花	受付時間・場所
来 賓	指定なし	胸花（赤・大）	8:00～ 本部受付
指導会役員 審判長 審判部長	夏制服、夏制帽、短靴	胸花（白・大）	
消 防 長	指定なし	胸花（白・中）	8:00～ 本部受付
随 行 者	指定なし		
審判員	活動服、保安帽、編上靴		8:00 消防庁舎 車庫内
都 県 連 絡 員	各本部のポロシャツ又は活動服、活動服ズボン 各本部のアポロキャップ、運動靴		7:30 隊員受付
隊 員	<b>【訓練時】</b> 「第54回全国消防救助技術大会実施要領」に定める服装とし、陸上訓練ではゼッケンを着用する。 <b>【開・閉会式・表彰式】</b> 救助服又は活動服、アポロキャップ、編上靴 ※ゼッケン及び革手袋は着用しません。		7:30～8:30 隊員受付

イ 消防長（又は代理）が参会する場合は、別途案内の「全国消防長会情報管理システム」により報告してください。また、消防長の受付は、指導会会場で済ませたうえ、配付する胸花を着用してください。

ウ 隊員受付は、各消防本部の代表者が行ってください。その際に、出場隊員を確認し、ゼッケンを配付します。終了後、ゼッケンの返却は必要ありません。

エ 隊員の変更は原則として認めません。ただし、負傷等やむを得ない事由が発生し、審判長が認めた場合に限り、変更できるものとします。この場合、指導会当日の隊員受付時に隊員変更届出書（様式3）を提出してください。

なお、隊員を変更した場合、隊員名簿には反映できません。

9 開会式要領（別図9参照）

(1) 指導会役員、審判長及び審判部長

本部テント内自席に、9時25分までに御着席ください。

(2) 総指揮者

総指揮者（埼玉県から選任）は9時25分までに総指揮者待機位置に集合してください。

(3) 都県指揮者

各都県において、1名（「引揚救助」の隊員を除く。）を事前に選任してください。

い。

(4) 参加隊員

開会式に参加する隊員数は、各都県指揮者1名及び参加隊員10名（「引揚救助」の隊員を除く。）としますので、各都県において選任してください。

(5) 集合時間等

各都県指揮者及び隊員は、9時20分までに開閉会式集合場所（別図9参照）に集合してください。総指揮者の「集まれ」の号令により、順次入退場口から入場してください。

なお、各都県の整列位置にプラカードが置いてありますので、入場の際の目印にしてください。

また、各都県指揮者は式中プラカードを保持してください。

(6) 黙とう

会場アナウンスに従い黙とうを行います。黙とう時、隊員は脱帽となります。

(7) 国旗・大会旗掲揚

会場アナウンスに従い、国旗・大会旗の掲揚を行います。掲揚時、指導会役員及び各都県指揮者は「挙手注目」、その他の者は「注目」の敬礼とします。

(8) 隊員宣誓

会場アナウンスがありましたら、宣誓隊員は「かけ足」で指揮者の右側を抜け、式台前の宣誓位置に移動し、宣誓を実施してください。

(9) 隊員退場

隊員の退場は、開会式終了後、総指揮者の「各都県指揮者の指揮により解散」の指示により、都県ごとに順次入退場口から退場してください。

なお、各都県指揮者はプラカードを持って退場してください。

(10) 雨天時について

雨天時は、降雨の状況により、本部テント前にテントを設営し、開会式を実施します。その場合は、会場アナウンスによりお知らせします。

なお、テント内に整列する隊員は、各都県指揮者のみとします。

## 10 閉会式要領（別図9参照）

(1) 指導会役員、審判長及び審判部長

本部テント内自席に、15時35分までに御着席ください。

(2) 総指揮者

総指揮者（埼玉県から選任）は15時35分までに総指揮者待機位置に集合してください。

(3) 都県指揮者

各都県において、1名を事前に選任してください。

(4) 参加隊員

閉会式に参加する隊員数は、各都県指揮者1名及び参加隊員10名としますので、各都県において選任してください。

なお、閉会式には代表受賞者も参加します。（(6)表彰参照）

また、代表受賞者の指揮者は「技術訓練」の代表者とします。

(5) 集合時間等

各都県指揮者、隊員及び代表受賞者は、15時30分までに開閉会式集合場所に集合してください。係員の指示により、順次入退場口から入場してください。

なお、各都県の整列位置にプラカードが置いてありますので、入場の際の目印にしてください。

また、各都県指揮者は式中プラカードを保持してください。

#### (6) 表彰

ア 表彰は各訓練種目（技術訓練含む）の代表受賞者とし、受賞者は各種目代表者1名とします。

イ 代表受賞者は、成績掲示板に掲示する訓練結果に表記するとともに、該当の都県連絡員を通じて連絡します。

ウ 係員から受賞要領の説明を行いますので、15時25分までに「隊員受付」（別図6参照）に集合してください。※技術訓練は訓練開始前に説明します。

#### (7) 国旗・大会旗降納

会場アナウンスに従い、国旗・大会旗の降納を行います。降納時、指導会役員及び各都県指揮者は「拳手注目」、その他の者は「注目」の敬礼とします。

#### (8) 隊員退場

隊員の退場は、閉会式終了後、総指揮者の「各都県指揮者の指揮により解散」の指示により、都県ごとに順次入退場口から退場してください。

なお、各都県指揮者はプラカードを持って退場してください。

#### (9) 雨天時について

雨天時は、降雨の状況により、本部テント前にテントを設営し、閉会式を実施します。その場合は、会場アナウンスによりお知らせします。

なお、テント内に整列する隊員は、各都県指揮者及び代表受賞者のみとします。

## 11 訓練結果

(1) 訓練の審査に対する質疑・異議申し立て等は一切受け付けません。

(2) 訓練結果は、会場内の成績掲示板及び大会専用ホームページ（共通編参照）に掲載予定ですので御確認ください。

(3) 「第54回全国消防救助技術大会」への出場隊選出方法は、令和8年4月22日に開催された（一財）全国消防協会関東地区支部役員会において決定された内容によります。

#### (4) 減点箇所の開示

減点内容は、求めがあれば当該本部に開示するものとし、開示内容は「実施要領」に定める審査表の審査基準項目で示すものとし、

開示の手続きは、開催地あて、開催当日から30日以内に文書により減点箇所の開示を求めるものとし、開催地は文書により開示します。

#### (5) 表彰状の受領

各種目減点のない隊を入賞とし、各隊に表彰状を1枚配布します。訓練結果が発表され次第「隊員受付」にて配付しますので、消防本部ごとに受領してください。

※代表受賞に該当する場合は閉会式で表彰します。（10閉会式要領-（6）表彰参照）

## 12 昼食

(1) 指導会役員、審判役員の昼食（弁当）については開催地で準備します。

(2) 運営係員、参加隊員及び一般参加者（消防長含む）につきましては、大会専用ホームページ（共通編参照）内サイトにて昼食弁当を有料で斡旋しております。希望される方はお申し込みください。

(3) 弁当の配付時間及び場所等

ア 配付時間は11時00分から13時30分までとなります。

イ 指導会役員、審判役員、参会消防長については消防庁舎3階大会議室（別図7参照）にて配布します。

ウ 運営係員及び隊員等については、消防庁舎2階小会議室（別図7参照）にて配付します。都県ごとにまとめてありますので都県連絡員の指示に従い受け取ってください。

エ 弁当の容器は、ゴミ箱に捨てずに14時30分までに消防庁舎2階小会議室へ返却してください。

### 13 都県連絡員の任務等

(1) 隊員受付

7時30分から8時30分まで、出場隊員の確認及び隊員変更の受付を行い、ゼッケン及び関東地区指導会参加記念品（メダル）等の配付を行ってください。

(2) 隊員の集合状況の確認及び招集

開・閉会式及び訓練並びに表彰の際の隊員集合状況の確認と必要に応じて招集を行ってください。特に表彰の際の代表受賞者の連絡調整、招集に配慮してください。

(3) 表彰状の配付

隊員受付で入賞者に表彰状を配付してください。

(4) 指導会中止時の連絡

指導会中止時に、各参加消防本部代表者へ連絡してください。

(5) その他運営に関すること

ア 上記以外で開催地事務局からの依頼事項について、御協力をお願いします。

イ お弁当について、消防庁舎2階の小会議室が配布場所となりますので、都県ごとに受け取り及び配付をお願いいたします。（別図7参照）

ウ サンプルングで提供される飲料水を訓練隊員、審判員及び都県連絡員に各1本配付してください。受け渡し場所は当日指示いたします。

エ 詳細は、7月16日（木）に開催する審判員・都県連絡員会議にてお知らせします。

(6) 指導会当日は、宿泊施設から指導会会場まで及び指導会会場からJR大宮駅まで専用バスを運行します。

### 14 審判員の任務等

(1) 「実施要領」に定める各訓練種目の審査基準項目に従い、訓練行動の審査をお願いいたします。

(2) 指導会当日の8時00分までに、運営係員待機場所（別図6参照）に集合してください。

(3) 担当種目については別表1「審判員及び訓練種目別分担表」のとおりです。

詳細は、7月16日（木）に開催する審判員・都県連絡員会議にてお知らせします。

(4) 指導会当日は、宿泊施設から指導会会場まで及び指導会会場からJR大宮駅まで専用バスを運行します。

### 15 指導会中止時の連絡等

(1) 指導会は小雨決行としますが、荒天の場合は中止とします。

(2) 中止の場合は、6時00分までに、各都県連絡員へ連絡をします。各都県連絡員は事

前に各参加消防本部代表者との連絡体制を確立しておいてください。

(3) 中止に関わる問い合わせは、各都県支部へお願いします。

## 16 宿泊及び屋食の申し込み

大会専用ホームページ（共通編参照）からお申し込みください。

## 17 訓練施設の開放

(1) 日時について

7月8日（水）、7月9日（木）の9時30分から15時00分まで

(2) 参加を希望する消防本部は、訓練施設開放参加調査票（様式6）により、開催地事務局あて回報してください。

(3) 訓練に使用する安全マット、検索通路のポール式、渡過ロープ、各種確保ロープ、各種支点、チルホール、張力計等は開催地事務局で準備します。

(4) 参加消防本部は訓練統括者を定め、各消防本部の安全管理に関する規定等に基づき訓練全体を統括してください。

(5) 訓練会場の運営にかかる指示に従ってください。（別図10参照）

ア 資器材搬入は7時30分から9時00までとします。

なお、資器材搬送場所の利用については「資器材搬送用車両」のみとさせていただきます。隊員の乗り降りは指定駐車場をお願いします。

また、会場内のスペースの都合上、大型車両の進入は禁止とします。

イ 車両の駐車位置については別図11を参照してください。

なお、普通車と中型車以上で駐車場への導線及び駐車位置が異なりますので御注意ください。

また、駐車場の開門は7時30分からとします。

ウ 8時30分から本部テントにて受付を開始します。

エ 9時00分から運営に関する説明をします。各消防本部の代表者は本部テントへお集まりください。

(6) 中止判断について

雨天決行としますが、荒天時等については中止とします。

中止の際は、6時00分までに判断し各都県支部へ連絡いたします。

なお、中止の際の予備日はありません。

## 18 調査票の回答等

各様式を「全国消防長会情報管理システム」にて各都県支部長宛て送付しますので、次表のとおり御回報ください。

出場隊員名簿に入力する氏名で、外字に該当する場合は、類似の漢字を使用し、外字での入力を行わないでください。（成績発表及び表彰状は類似の漢字を使用させていただきます。）

なお、回報いただきます隊員の個人情報については、隊員名簿等に掲載することになりますので、予め御了承ください。

また、隊員名簿については、とりまとめた後、最終確認でデータを送付します。確認以降は修正できませんので御了承ください。

名簿確認後にやむを得ず隊員を変更する場合は、指導会当日7時30分から8時30分までに「隊員変更届出書」（様式3）を「隊員受付」に提出してください。

様式	名称	回答期限・方法	
		各消防本部	各都県支部都市消防本部
—	駐車場利用及び 指導会参会等調査	7月3日（金） 全国消防長会情報管理システム アンケート機能により報告	—
1-1~3	出場隊員名簿	各都県支部長都市消防本部が 定める期限・方法により報告	7月3日（金）AM 開催地事務局へメール
3	隊員変更届出書	名簿確認前は随時 開催地事務局へメール ※その後は、当日7:30~8:30 に「隊員受付」に提出	—
4	訓練用具借用調査票	7月3日（金） 開催地事務局へメール	
5	服装（同一仕様）に 係る報告書		
6	訓練施設開放 参加調査票		

※駐車場利用及び指導会参会者調査のアンケートは、陸水会場まとめて1度の報告となります。

【回報先】 埼玉県消防長会消防救助技術指導会実行委員会

E-mail: [saitama-kanto@city.saitama.lg.jp](mailto:saitama-kanto@city.saitama.lg.jp)

## 19 その他

- (1) 会場内のすべてにわたり、飲酒は禁止します。
- (2) 会場内は指定場所以外禁煙です。喫煙する場合は指定場所のテント内（別図6参照）でお願いします。喫煙スペースに限りがありますので、お互いに譲り合うなど配慮をお願いします。  
なお、灰皿の設置はいたしませんので、各自で準備をお願いします。  
また、喫煙マナーが悪い場合は、途中で敷地内全面禁煙とさせていただく場合があります。皆様の御協力をお願いいたします。
- (3) 会場内へのテント（タープ）、椅子及びテーブル等の設置は禁止します。
- (4) 会場内では訓練運営に支障となる無線機、トランシーバーの使用を禁止します。
- (5) 立入禁止場所をカラーコーン等で指定しますので、厳守してください。
- (6) ゴミの持ち帰りに御協力をお願いいたします。
- (7) 貴重品は各自責任を持って管理してください。
- (8) 開催地事務局で撮影した写真及び動画は、各消防本部への情報提供やホームページ等で活用する予定です。掲載等に支障がある場合は、開催地事務局までご連絡ください。

## 審判員訓練種目分担表

	陸上の部			水上の部				
	引揚救助	ロープブリッジ救出	障害突破	溺者搬送	人命救助	水中結索	溺者救助	水中検索救助
地区支部	1		◎					
群馬	2		事前					
栃木	◎							
茨城	事前	1						
千葉		2	事前	事前	○	事前	○	事前
東京		3		○	事前	○	事前	○
神奈川	事前	4						
山梨		◎						
長野		事前	1					
静岡		事前	2					
埼玉	○	○	○					

※◎は担当種目の統括、○は担当種目、数字はコースを示しています。

※事前は、事前審査中に疑義が生じた場合に対応するものとします。

# 訓練進行表【陸上の部】

別表2

## 1 訓練進行表

順序	開始・終了時間	訓練種目	所要時間	招集時間
	9:30 ~ 10:00	開会式	30分	
1	10:05 ~ 11:45	引揚救助	100分	9:05 (1組目~6組目)
				9:45 (7組目以降)
2	11:50 ~ 12:40	ロープブリッジ救出	50分	10:50
3	13:00 ~ 15:00	障害突破	120分	12:00 (1組目~7組目)
				12:45 (8組目以降)
4	15:10 ~ 15:30	技術訓練	20分	14:30
	15:40 ~ 16:00	表彰	20分	
		閉会式		

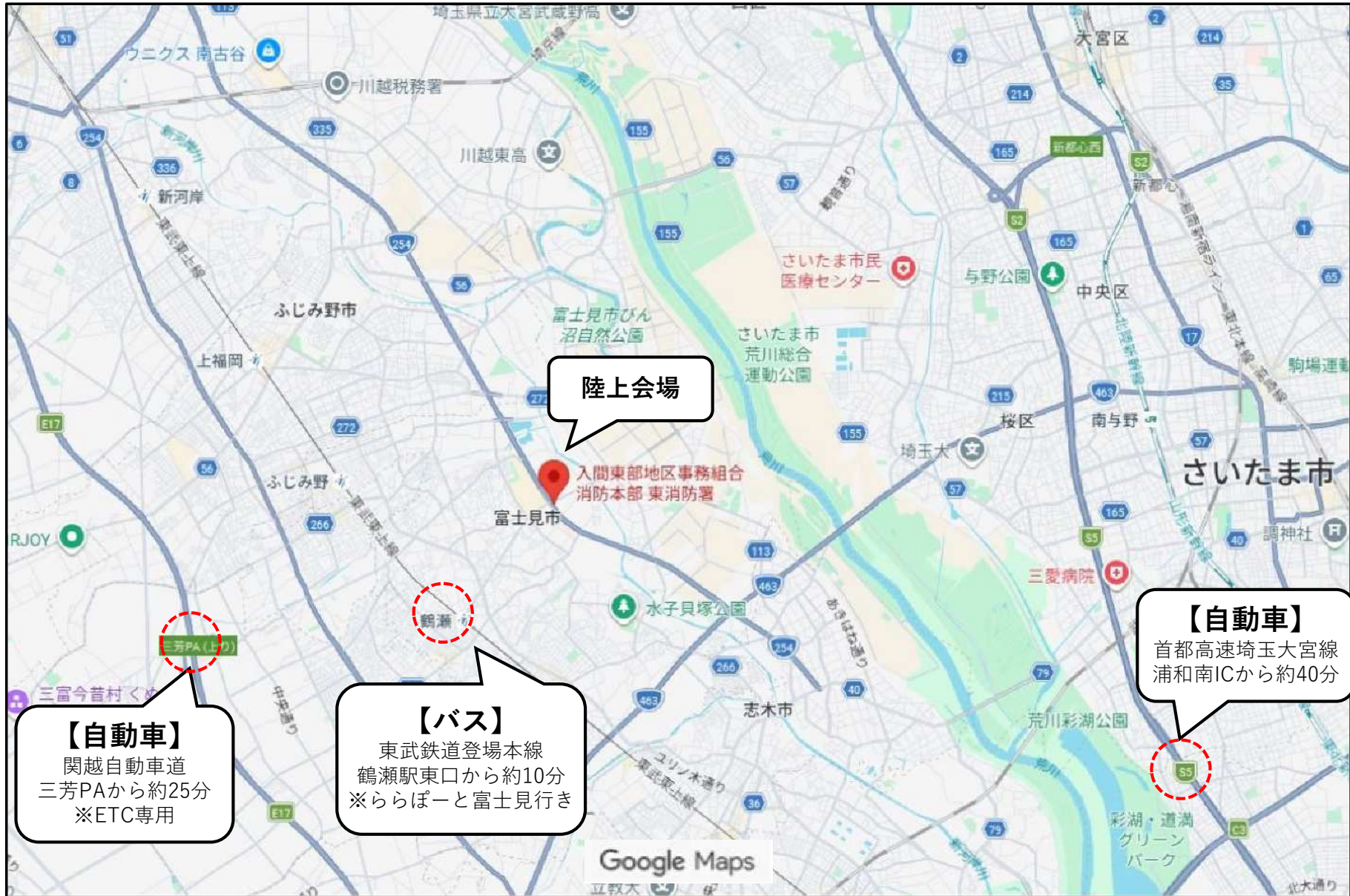
## 2 訓練進行表・詳細図

訓練種目	時間	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
開会式	9:25 集合整列			9:30~10:00 【30分】								
引揚救助	9:05 招集 (1組目~6組目)				10:05~11:45 【100分】							
	9:45 招集 (7組目以降)											
ロープブリッジ救出	10:50 招集					11:50~12:40 【50分】						
障害突破	12:00 招集 (1組目~7組目)						13:00~15:00 【120分】					
	12:45 招集 (8組目以降)											
技術訓練	14:30 招集							15:10~15:30 【20分】				
表彰・閉会式	15:35 集合整列									15:40~16:00 【20分】		

備考1 訓練の進行状況により訓練時間が早まる場合等は、随時場内放送により連絡します。

2 各訓練の表彰は、閉会式時に行います。

# 会場アクセス



# 会場周辺案内図【陸上の部】



# 移動経路図

(隊員乗降及び資器材搬入場所～指定駐車場)

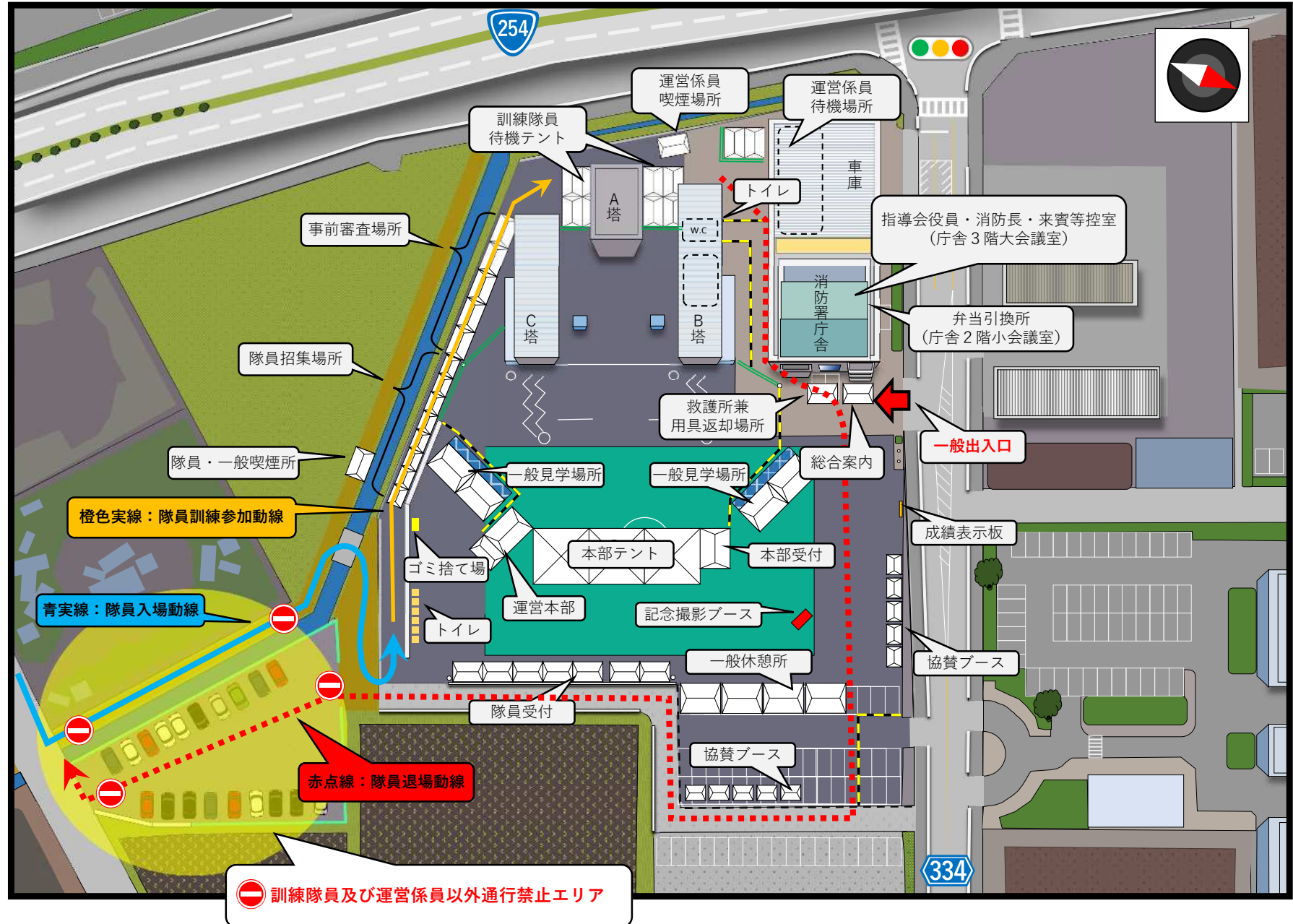




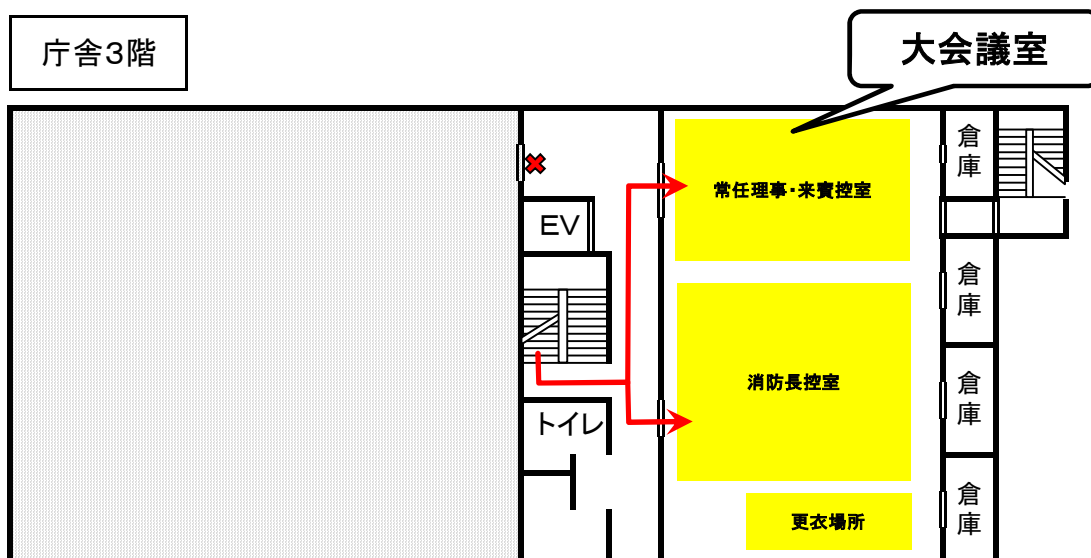
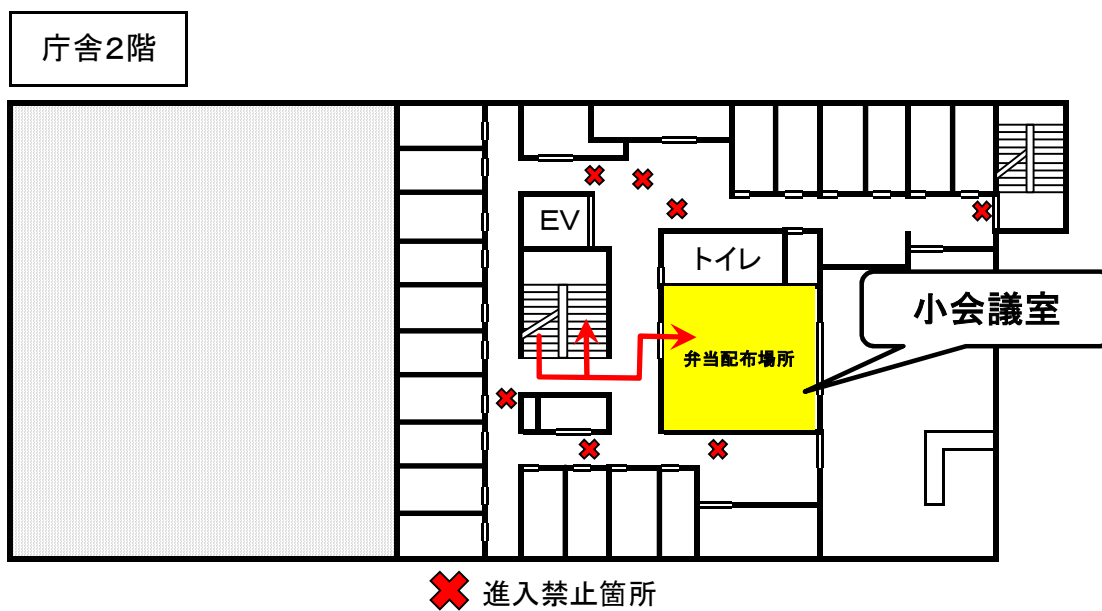
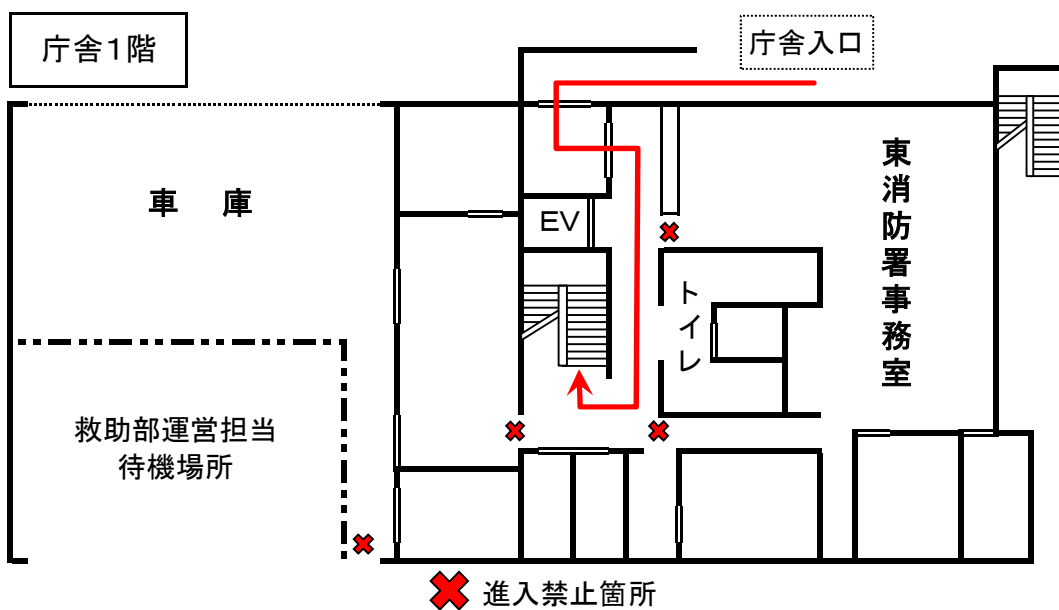
# ウォーミングアップ場所 (文化の杜公園)



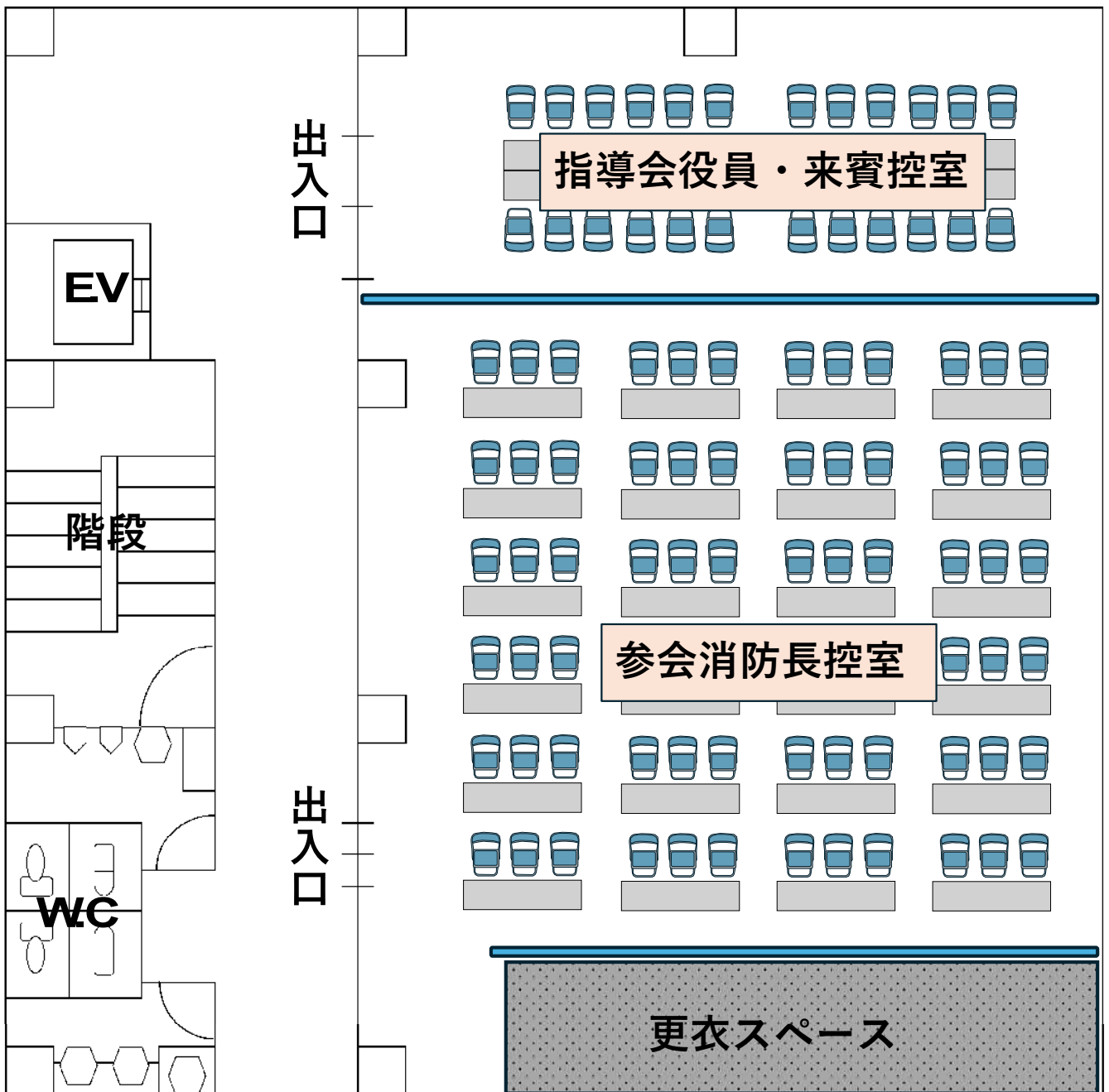
# 主会場詳細図



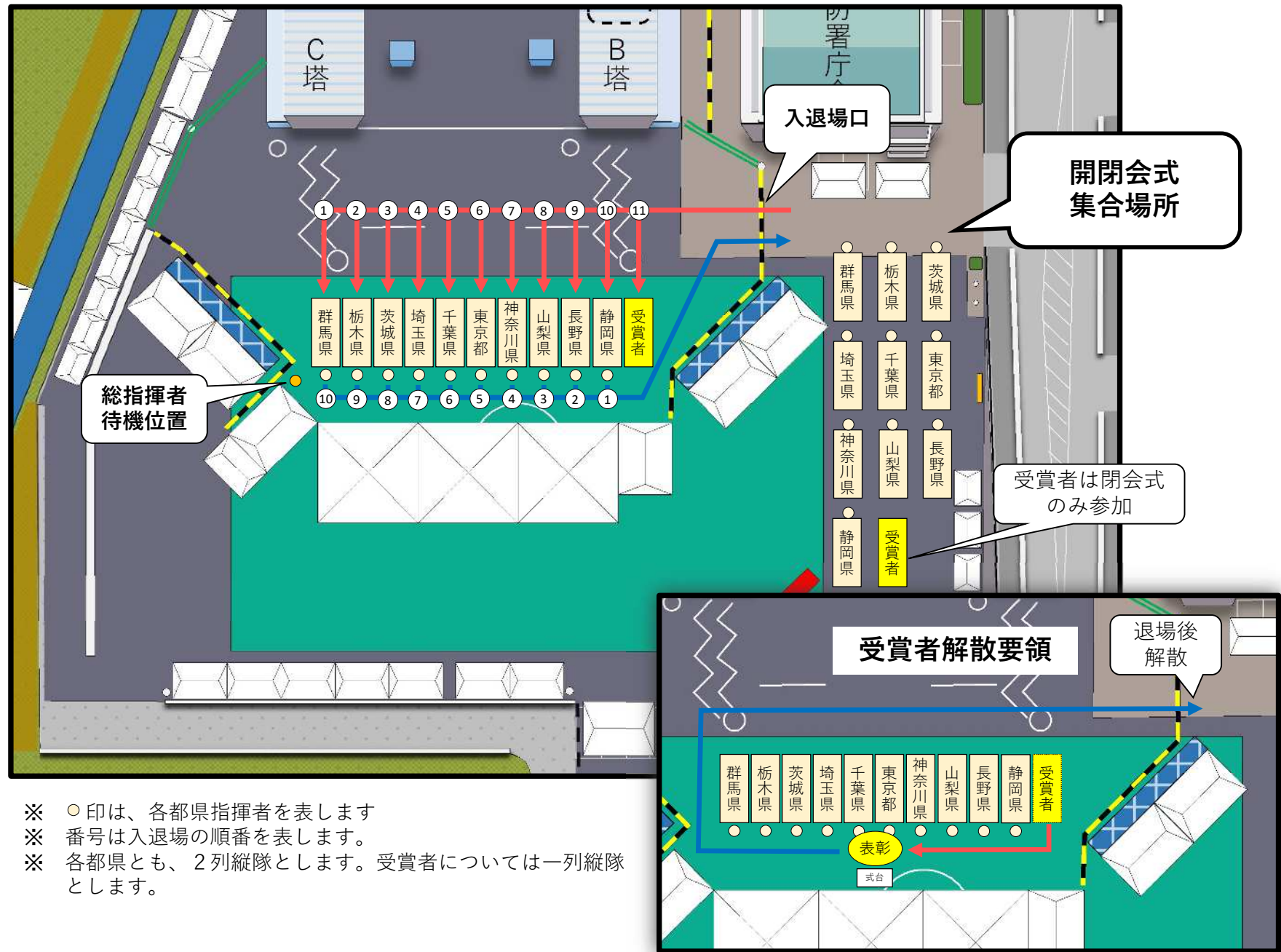
# 東消防署庁舎 詳細図



# 指導会役員・参会消防長・来賓控室 (消防庁舎 3 階大会議室)

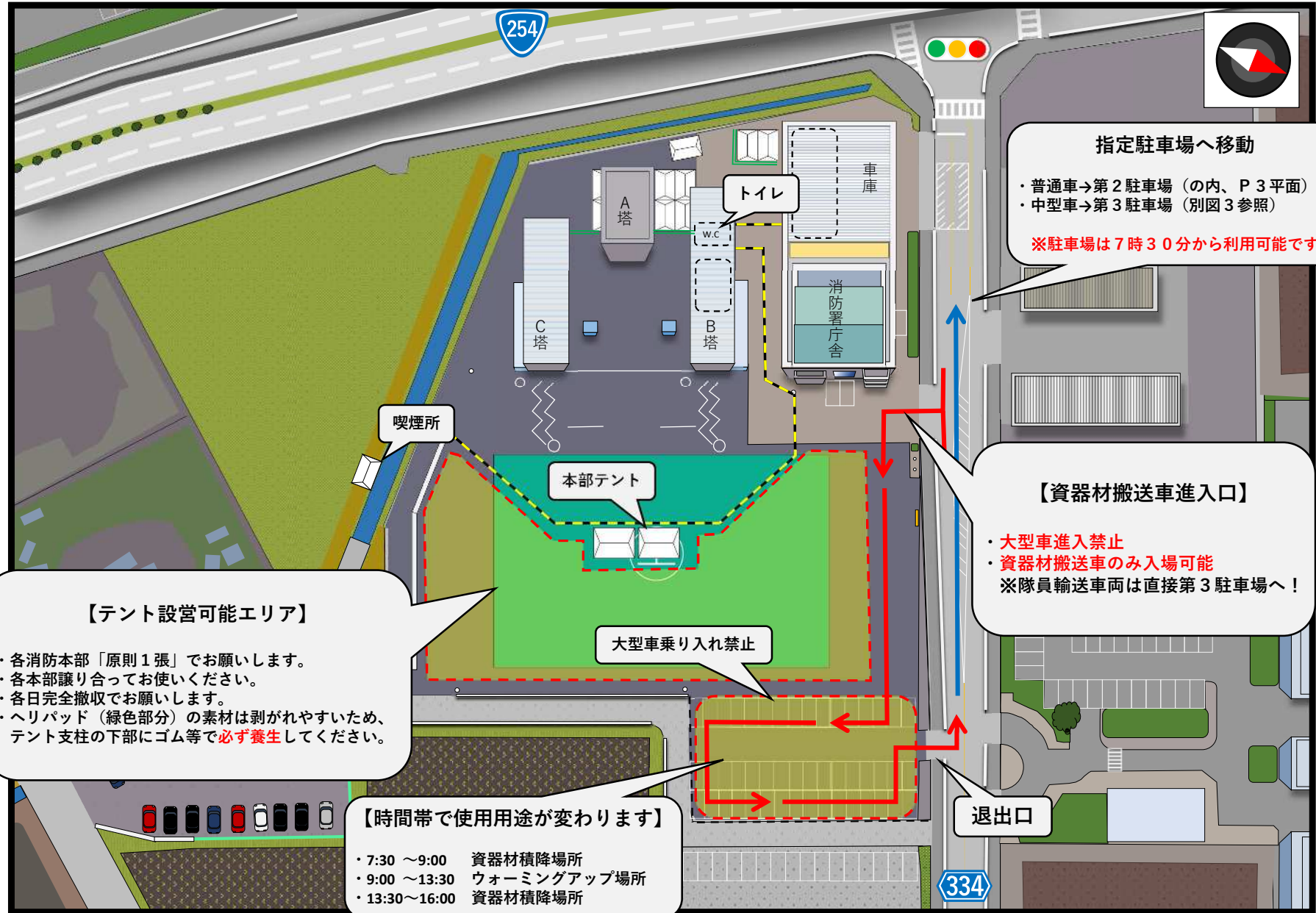


# 開閉会式整列隊形図



- ※ ○印は、各都県指揮者を表します
- ※ 番号は入退場の順番を表します。
- ※ 各都県とも、2列縦隊とします。受賞者については一列縦隊とします。

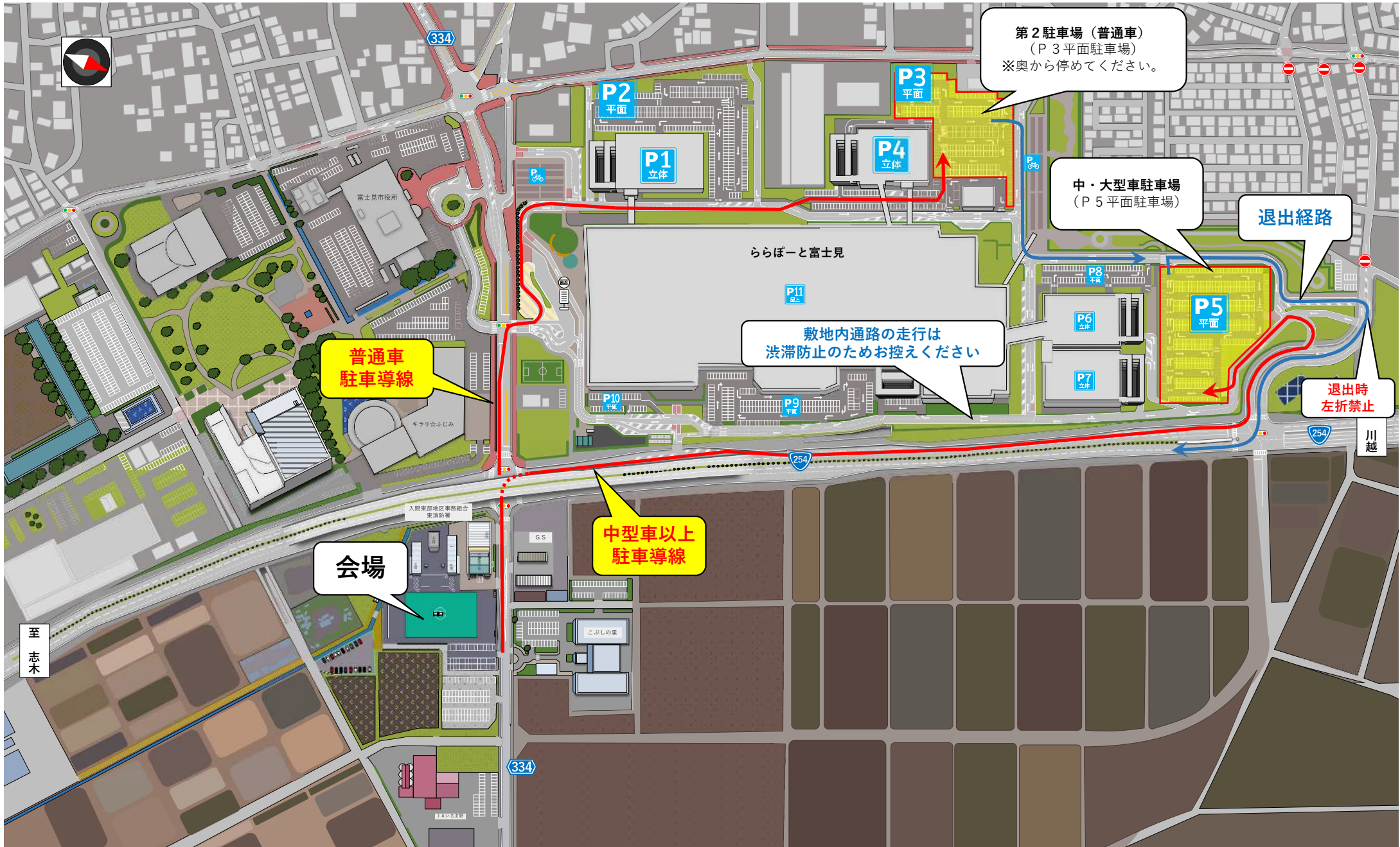
# 施設開放詳細図



# 施設開放移動経路図

(訓練会場～指定駐車場)

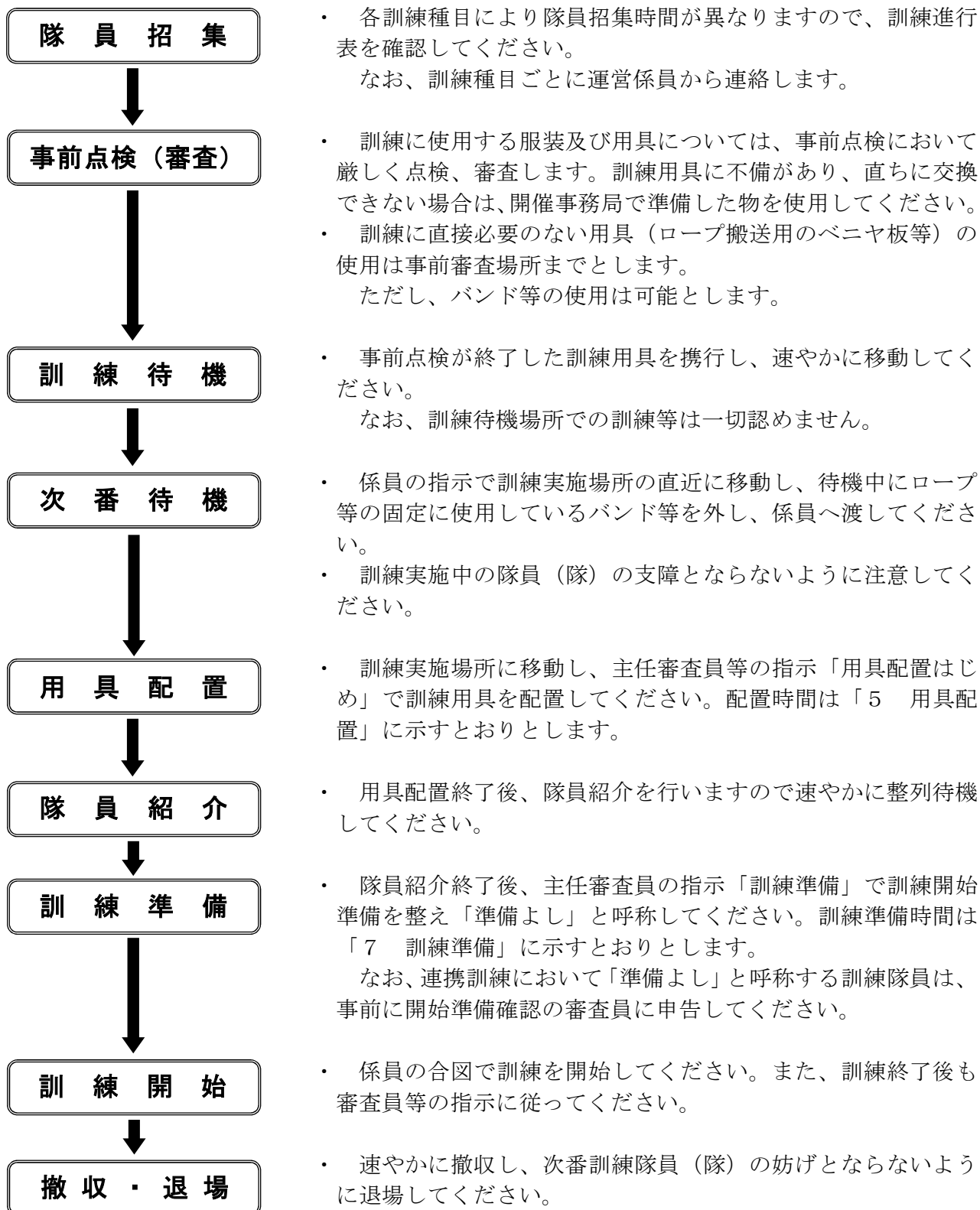
※ 駐車場は7時30分から使用可能です。



## 訓練進行要領

### 【訓練進行概要】

各訓練の進行は下図のとおり実施しますので、訓練出場隊員は、次に定める行動内容をよく把握し、各係員の指示に従い、規律正しく迅速に行動してください。



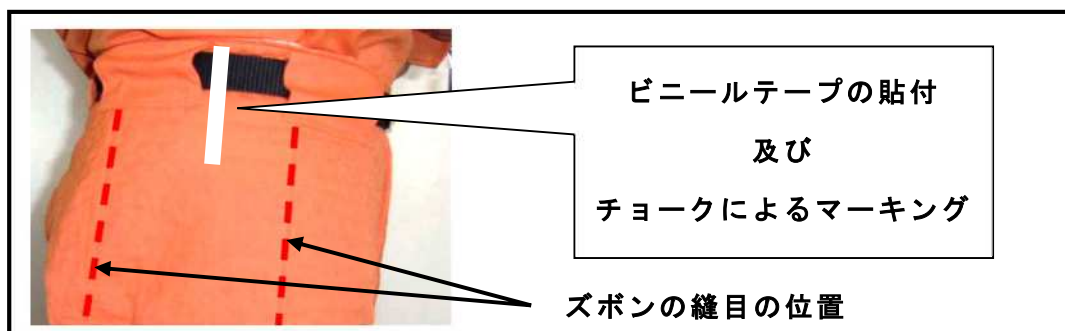
## 1 隊員招集

- (1) 各訓練種目の招集開始は運営係員から連絡します。
- (2) 訓練に出場する隊員は、訓練時の服装（ゼッケン着用）で訓練用具を携行し、隊員招集場所に集合してください。
- (3) 隊員招集場所に集合した訓練隊員は、必ず係員に集合報告を行い、指示に従ってください。
- (4) 係員が「出場組」、「訓練実施コース」、「消防本部名」、「出場隊員氏名」及び「ゼッケン」等の確認を行います。
- (5) 他の訓練種目に重複出場のため、本人が集合できない場合は、代理の者が集合し、その旨を係員に報告してください。  
なお、訓練が進行し、次番順位になっても当該訓練隊員が集合しない場合は、棄権したものとみなします。
- (6) 訓練の進行状況により招集時間に変更が生じた場合は、随時、場内放送等により連絡しますので注意してください。

## 2 事前点検

- (1) 招集完了後、事前審査場所に移動し、服装及び用具等の点検を実施します。
- (2) 立体裁断の救助服ズボンを着用している訓練隊員については、事前点検時にズボン横縫目を標示します。  
なお、標示方法については、体側中央部のベルトに白ビニールテープの貼付及びズボンにチョークによるマーキング（約5cm）を行います。【写真1参照】
- (3) 事前点検の結果、不適正用具等を指摘された場合は失格処分とします。  
なお、服装及び訓練用具の不良等を指摘された場合は、指示されたとおり是正してください。また、交換の指示を受けたものは速やかに交換を行ってください。  
開催地事務局が保有する交換用訓練用具は様式4のとおりです。
- (4) 要救助者が「実施要領」に定める体重に満たない場合は、開催事務局が準備する水難用ウェイトで調整してください。
- (5) ロープの長さは事前に計測しませんが、訓練実施時に短い場合は訓練続行不可能と判断して審査員等が訓練を中止させます。ただし、「引揚救助」の懸垂ロープについては、用具配置時に確認及び指示を受けていることから対象外とします。
- (6) ロープ保護布を使用する訓練種目については、開催事務局で準備したものを使用してください。また、事前審査員の指示に従い着装してください。  
なお、保護布の折り方については、二つ折りとします。
- (7) 持込みカラビナの不備が指摘された場合、開催事務局で準備したカラビナを訓練実施前に、係員の指示に従って選択し、使用してください。

- (8) 不備があった持込みカラビナについては、事前審査で回収し、袋に入れて用具返却場所にて返却しますので、訓練終了後速やかに引き取ってください。他の不備があった訓練用具も同様に用具返却場所にて返却します。
- (9) 「障害突破」のリードロープ（容器入りのもの）については、「実施要領」に定めるとおりとし、容器は「実施要領」に定める単体のもので仕切りがなく、淵に切り込み等の加工がないものを使用してください。また、砂袋とリードロープを結着する位置は、砂袋から10cm以内とし、リードロープの末端処理は5cmまでとします。
- (10) 訓練隊員は、事前点検終了後、係員の指示に従い行動してください。



【写真1】

### 3 訓練待機

- (1) 訓練隊員待機テントでは、テントからはみ出ることのないよう待機してください。また、この場所での訓練等は一切認めません。
- (2) 訓練隊員待機テントから一時的にその場を離れる理由が生じた場合は、必ず係員に「理由」及び「行き先」等を申し出てから離れ、戻り次第、係員に報告してください。

なお、訓練待機場所から離れた場合は、再度、事前点検を実施します。

- (3) 次番待機場所へは、係員の指示により移動してください。
- (4) 熱中症対策として、訓練隊員待機テントまで飲料水の持ち込みを可とします。飲料水は次番待機場所へ移動する前に、B・C塔階段下に設けた保管ケースに入れてください。飲料水は訓練終了後、忘れずに持ち帰るようお願いいたします。

### 4 次番待機

- (1) 次番待機場所での待機隊員数（隊数）は、2～3名（隊）とし、訓練の進行状況により係員が誘導します。また、訓練が終了するまでは、いかなる理由であってもこの場所を離れることは認めません。
- (2) 訓練実施場所へは、係員が誘導します。
- (3) 審査員が必要と認めた場合、訓練直前に再度、事前点検を行います。

- (4) 要救助者の体重測定が必要な訓練種目については、測定を実施します。
- (5) ロープ等に固定しているバンド等については、次番待機時に外し、係員へ渡してください。
- (6) 持込みカラビナに不備があった隊員は、事前審査係員より引換券を預かり、次番待機場所で係員に引換券を渡し、カラビナを選択してください。

## 5 用具配置

- (1) 訓練用具の配置が必要な訓練種目については、主任審査員等の「用具配置はじめ」の指示で、「実施要領」の定めるとおりに用具を配置し、「用具配置やめ」の指示で、速やかに配置を終了してください。
- (2) 各訓練種目の用具配置時間を次のとおりとしますので、規定時間内に訓練用具の配置を完了させてください。

訓練種目	用具配置時間
引揚救助	2分30秒
ロープブリッジ救出	1分00秒
障害突破	2分15秒

## 6 隊員紹介

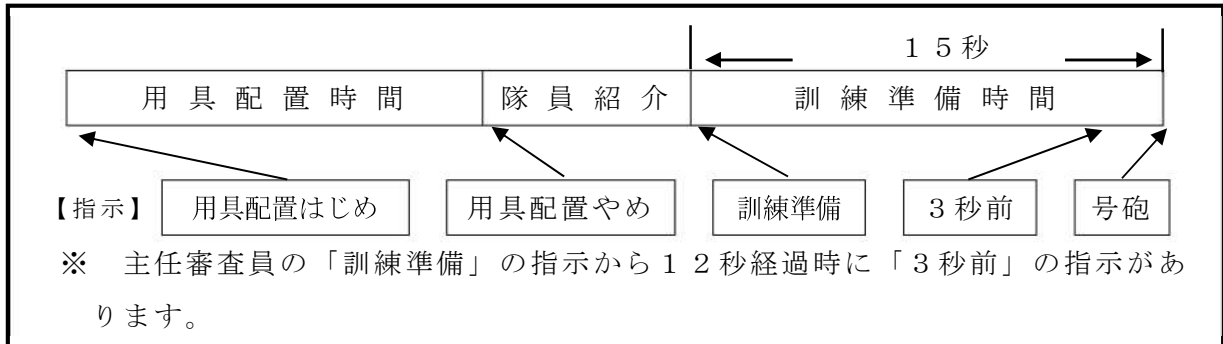
- (1) 用具配置終了後、隊員紹介を行いますので、本部席に正対して整列してください。
- (2) 場内放送で「訓練種目」、「訓練組」、「訓練実施コース」及び「消防本部名」を紹介しますので、代表する訓練隊員（最右翼の訓練隊員）は、一歩前に進み、右手を垂直に挙げ、「はい」と答え、元に戻り整列してください。

なお、同組最終コースの隊員紹介が終了するまで整列で待機してください。

## 7 訓練準備

- (1) 同組最終コースの隊員紹介後、主任審査員の「訓練準備」の指示で訓練の準備をしてください。また、技術訓練を除くすべての訓練種目の訓練準備時間を1.5秒以内と定めますので、準備が整い次第「準備よし」と呼称してください。  
 なお、「準備よし」と呼称する訓練隊員は、事前に開始準備確認の審査員に申告してください。
- (2) 定められた時間内に「準備よし」の呼称がない場合でも、訓練開始の合図（長音一声・「よーい」・号砲）となります。

※時間内に「準備よし」の呼称が無い場合のスタートまでの流れ



## 8 訓練開始

(1) 訓練開始の合図は、次の要領で行います。

- 【 訓 練 準 備 】 … 各係員が旗をあげる。
- 【 準 備 よ し 】 … 開始準備確認の審査員及び主任審査員（コース主任含む）が旗をあげる。
- 【 ピー（警笛：長音一声） 】 … 各係員があげた旗を降ろす。
- 【 よ ー い 】 … 訓練開始姿勢で静止する。
- 【 号砲（ピストル） 】 … 訓練開始

(2) 全ての訓練開始合図は、スタート用ピストルの号砲とします。

(3) 訓練開始時にフライングがあった場合も訓練を続行し、フライングのあった個人又はチームは減点とします。

(4) 訓練開始合図のピストル号砲が、何らかの原因により鳴らなかった場合は、再スタートとしますので、訓練を開始しないでください。

## 9 撤収・退場

(1) 訓練終了（ゴール）後に実施する審査項目がありますので審査員の指示に従ってください。

(2) 訓練終了後は、次番訓練隊員（隊）等の妨げにならないよう係員の指示に従い、速やかに訓練用具を撤収し、退場してください。

(3) 事前点検時において訓練に必要なない用具等を預けた訓練隊員は、誘導員が用具返却場所に該当用具等を搬送しておきますので、速やかに引き取りにきてください。  
なお、閉会式終了までに引き取りに来ない場合は処分させていただきます。

(4) 持込みカラビナについては、訓練終了後、実施隊員に返却しますが、引揚救助の下部支点及びロープブリッジ救出 C 搭で使用したカラビナは用具返却場所に搬送しておきますので、速やかに引き取りに来てください。

## 10 種目別訓練要領

### (1) 共通

- ア 用具は、各消防本部が導入している資器材であれば、同一種目内の訓練組内において異なる機種であっても使用は認めます。
- イ 救助服にマジックテープの台座がある場合は、階級章、名札及びワッペンを付けて訓練を実施してください。
- ウ 空気呼吸器ボンベ締付けバンドの調整限界により、空気ボンベが完全に固定できない場合は、ゴム製アタッチメント及びガムテープ等を貼付するなどし、空気ボンベを確実に固定してください。
- エ 訓練開始前に服装及び用具等の再点検を実施します。
- オ 確保ロープ、誘導ロープ及びけん引救出ロープの一ひろ巻きで、端末ロープの巻き付け部が緩んでいる場合は、事前点検時及びスタート前に審査員等が締め直しを指示します。
- カ 訓練は、所定の合図により開始します。
- キ 「二人搬送」時における要救助者は、『意識のない場合』であるため、救助者の肩に手掌や手首のみを置くことは認めません。
- ク 強風時における対策として、訓練中に懸垂ロープが施設等に絡むことのないよう、係員を配置しますが、その時期については、スタートの号砲から訓練隊員が懸垂ロープに触れるまでとします。
- ケ 施設設定ロープの結索部（確保ロープ、確保専用ロープ及び各支持点等）を解き、変更することは認めません。

### (2) 引揚救助

- ア 持込みカラビナに不備があった隊員は、B・C塔の次番待機場所で係員に引換券を渡し、開催事務局準備のカラビナを選択してください。  
また、自己確保用カラビナは用具配置前に該当箇所に設定してください。確保ロープ支持点用カラビナについては、用具配置前に係員が設定します。
- イ 救助者は、審査員から座席結び等の点検を受けた後、指示により訓練用具を携行してスタート地点付近に待機してください。また、要救助者は体重測定後、塔下で待機してください。
- ウ 救助者は、主任審査員等の「用具配置はじめ」の指示で、2分30秒以内に訓練用具を「実施要領」に定める要領で配置してください。
- エ 要救助者は、主任審査員等の「用具配置はじめ」の指示で、2分30秒以内に確保専用ロープの地上部余長ロープを整理し、懸垂ロープの設定に協力後、検索支持点用カラビナの点検を完了してください。
- オ 懸垂ロープの設定方法については、「実施要領」のとおりとしますが、設定時に

において要救助者が懸垂ロープを握る等の行動は認めません。

なお、必要に応じて審査員が指示を与えます。【写真1及び写真2参照】

カ 救助者はスタート地点、要救助者は塔下要救助者待機位置において本部席に正対して隊員紹介を受けてください。

キ 隊員紹介終了後、主任審査員の「訓練準備」の指示で、速やかに訓練を開始する準備を整え「準備よし」と呼称してください。

ク 塔上へ引き揚げられた後の要救助者の行動については、「実施要領」のとおりとしますが、救出ロープを抱える等の行動は認めません。

ケ 訓練隊員は訓練終了後、審査員から審査を受け、速やかに訓練用具を撤収し、係員の指示で退場してください。

なお、救出ロープ及び懸垂ロープ等については、塔上で応急巻き等により速やかに整理してください。



【写真1】



【写真2】

### (3) ロープブリッジ救出

ア 持込みカラビナに不備があった隊員は、B・C塔の次番待機場所で係員に引換券を渡し、開催事務局準備のカラビナを選択してください。

また、自己確保用カラビナは用具配置前に該当箇所に設定してください。

イ 自己確保ロープの結着位置は、渡過ロープ直近のパイプとし、「実施要領」に定められている用具等配置図のとおりを設定します。

なお、自己確保ロープは、渡過ロープを基準とし、それぞれ「図4 ロープブリッジ救出自己確保ロープ状況図」で示すとおりの間隔で設定します。また、自己確保ロープの途中で結索等を行うことは認めません。【写真1、写真2参照】

ウ 救助者は、審査員の指示で訓練用具を携行し、スタート地点に整列してください。

また、要救助者は、体重測定後、C塔要救助者待機円で待機してください。

エ 主任審査員等の「用具配置はじめ」の指示で1分以内に訓練用具を「実施要領」に定める要領で配置してください。

※救出ロープの端末等、接地していない部分も含め標示された区域内に用具を配置してください。

オ 救助者はスタート地点、要救助者はC塔要救助者待機円内において本部席に正対して隊員紹介を受けてください。

カ 同組最終コースの隊員紹介終了後、主任審査員の「訓練準備」の指示で、速やかに訓練を開始する準備を整え「準備よし」と呼称してください。

キ 訓練終了後、審査員の指示があるまで、要救助者の運搬綱カラビナ及び救助者2名の渡過用カラビナには絶対に触れないでください。

ク 訓練隊員は訓練終了後、審査員からカラビナ及び結索部等の審査を受け、速やかに訓練用具を撤収し、係員の指示で退場してください。

なお、救出ロープの整理については、退場後に行ってください。



【写真1】 B塔側



【写真2】 C塔側

#### (4) 障害突破

ア 持込みカラビナに不備があった隊員は、待機テントの次番待機場所で係員に引換券を渡し、開催事務局準備のカラビナを選択してください。

イ 懸垂ロープの安全マット上の余裕ロープの長さは概ね2mとします。

ウ 塔上用具配置者の訓練塔の移動については、各塔の屋内階段を使用してください。垂直はしごの使用及びA、B塔間の連絡通路の使用は不可とします。

エ 訓練隊員は、主任審査員等の「用具配置はじめ」の指示で2分15秒以内に訓練用具を「実施要領」に定める要領で配置してください。

なお、空気呼吸器の横一列の判断基準は、保護枠が横一列であることとします。

オ はしご登はん用確保専用ロープのもやい結びの半結びを、メインロープにテープで巻き付け、危険措置を図ります。

カ はしご登はん用確保専用ロープの結着部分からもやい結びまでの余長は、メインロープに巻かれた半結びのテープまでとします。長い場合は、審査員等が是正の指示をします。

キ 緊急脱出用確保専用ロープ端末のひと結びは、端末から50cmの位置に係員が作成します。

また、係員が訓練毎に簡易的にロープ整理を行い一ひろ巻きの状態で塔上に配置します。

なお、補助者による一ひろ巻きの整理が用具配置時間内に間に合わなかった場合は、安全管理に支障がないよう再度係員がロープ整理を行いますので、速やかにB・C塔上で本部席に正対して隊員紹介を受けてください。

ク 確保専用ロープと自己確保ロープの混同を防ぐため、緊急脱出用自己確保ロープは白色とします。

ケ 審査員等の指示でスタート地点に移動後、本部席に正対して隊員紹介を受けてください。また、補助者はB・C塔上で本部席に正対して隊員紹介を受けてください。

コ 隊員紹介終了後、主任審査員の「訓練準備」の指示で速やかに訓練を開始する準備を整え「準備よし」と呼称してください。

サ スタート標示線に対して救助者が縦列に位置することは認めますが、最後尾の救助者が最初に高塀を超えることは安全管理上認めません。

シ はしご登はん時の登はん者の確保は、安全管理上3名の確保員が登はん者の動向に注視して実施します。

なお、はしご登はん時、確保専用ロープが登はん者の前面に通ることは認めますが、命綱が登はん者の背部から脇の下を通り、登はん者の前面に確保専用ロープが通っている場合は、審査員等が訓練を停止させ是正させた後訓練を再開させます。

ス 訓練中の経路は実施要領のとおりとし、緊急脱出後や煙道通過後に体育用マットを踏むことは安全管理上認めません。

セ 訓練隊員は訓練終了後、審査員から誘導ロープ及び空気呼吸器等の審査を受け、係員の指示で速やかに退場してください。

なお、保護布については、係員により回収します。

ソ リードロープに使用した容器は、訓練終了後、係員がA塔西側地上に搬送しますので、補助者は容器を必ず回収してください。

なお、退場時に回収を忘れた場合は、用具返却場所に搬送しておきますので、速やかに引き取りにきてください。

## 11 その他

- (1) 運営役員は熱中症対策として水分補給のため一時退場することがあります。各種目の次番隊は運営役員の指示があるまで次番待機場所で待機してください。
- (2) 開催地事務局で準備する訓練用具は、様式4のとおりとします。

## 訓練施設概要 【陸上の部】

### 1 概要

- (1) 訓練塔は、鉄筋コンクリート造により構築されており、足場部分等についてはコンクリートで、塗装していません。  
 なお、グラウンド面はアスファルト舗装となっています。
- (2) 訓練塔は、正面を北東向きに設営されています。
- (3) A塔は、高さ17m、幅5.74m、奥行き9.4mとなっており、塔内部に昇降用階段を設けています。  
 また、障害突破訓練用はしご下部に確保専用ロープ用の下部支点を設けています。
- (4) B塔は、高さ7.0m、幅6.0m、奥行き2.9mとなっており、北西側に昇降用階段を設けています。
- (5) C塔は、高さ7.0m、幅6.0m、奥行き2.4mとなっており、西側に昇降用階段を設けています。
- (6) A、B塔間のみ、高さ7.0m部分に連絡用通路を設けています。
- (7) B、C塔の天井には屋根があり、引揚救助に使用する部分は、前面及び側面に防護ネットを張っています。
- (8) 煙道は、B、C塔の正面壁面からそれぞれ75cm A塔側に設置しています。  
 なお、側壁は全てベニヤ板張りとなっており、「透明のビニール張り」は設けていません。
- (9) 煙道の各コーナーの突き当たり防止扉はロックピンを外し、養生テープにて固定している状況です。(施設図面【図9】参照)

### 2 付帯設備

- (1) はしご登はん・ロープ応用登はん  
 ア 懸垂ロープの係留点の高さは、GLから17.0mです。  
 イ はしご登はんの確保専用ロープについては、垂直はしごと確保ロープの緩衝を防止するため、一次支点から(A塔中心側へ1.1m)二次支点(滑車使用)に逃がしてから下部支点(丸管)へのロープ展張となります。(P38図6参照)
- (2) 引揚救助  
 ア B、C塔の登はん・降下路の両側は、コンクリート壁面となります。  
 イ 実施要領『P.55 施設及び用具(ア)施設 a』の前面から50cmの位置の補強用パイプは設けていません。  
 ウ 定滑車については、滑車結着用小綱を使用して固定するほかに、0.5cmワイヤーを使用して固定します。  
 エ 検索用通路に設けられているポールについては、「可倒式」です。
- (3) ロープブリッジ救出  
 ア B、C塔間の渡過ロープにかかる塔上の角部分については、単管パイプを取り付けるとともに、ロープ保護用当て布を施工します。設定時は各塔床面から約4.5cm浮いた状態です。  
 イ 使用コースは、全4コースとします。

#### (4) 障害突破

ア 地上面から煙道の床面までの高さは、25 cmです。

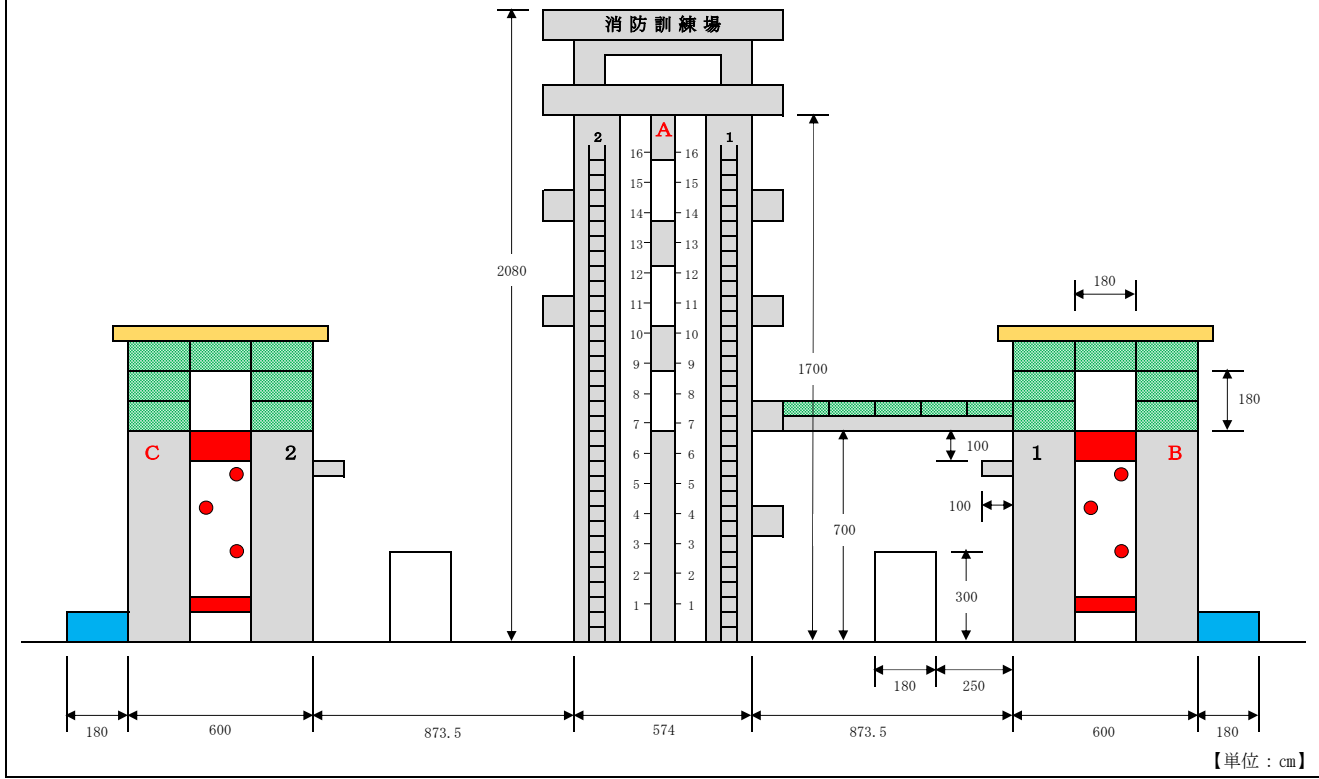
イ 煙道入口に、空気呼吸器及び誘導ロープ置台（幅200 cm、奥行き200 cm、高さ25 cm）及び煙道出口に配置台（幅100 cm、奥行200 cm、高さ25 cm）を設置します。

ウ A塔の応急ブリッジ場所の開口部（シャッター部分）は、幅400 cm×高さ200 cmです。

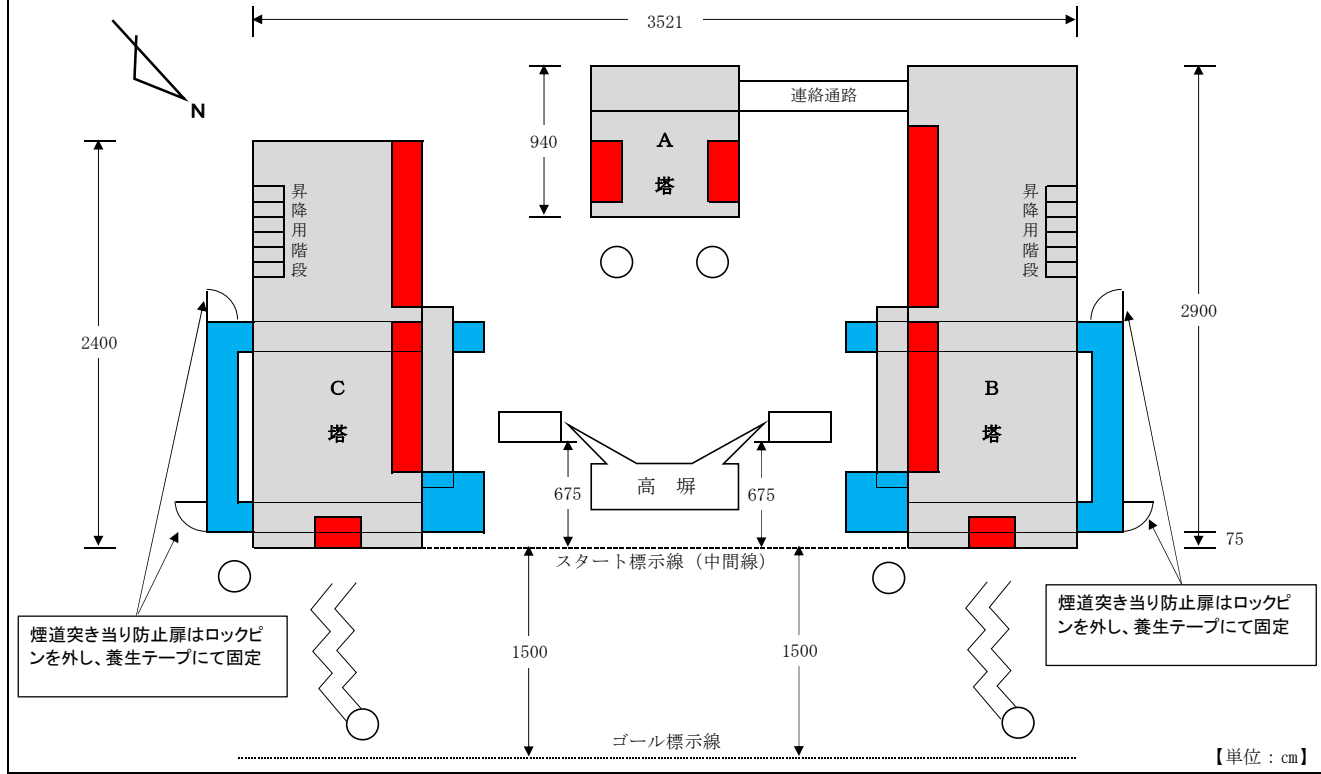
### 3 その他

開催事務局で準備するロープは、「東京製綱M打ちロープ」カラビナは、「ワンツースリーカラビナ」です。

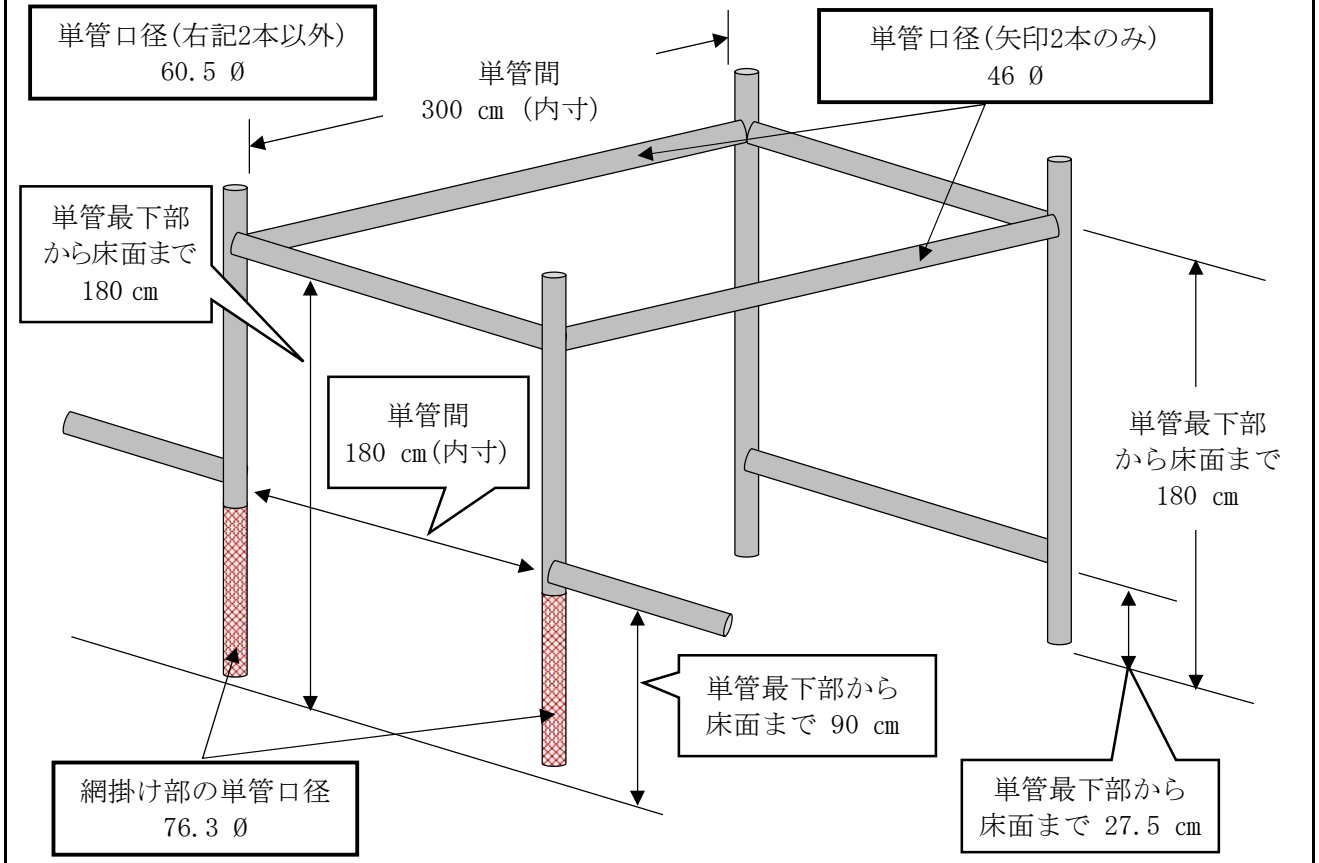
【图 1】付帯施設概要図 <訓練塔立面図>



【図2】付帯施設概要図 <障害突破設定時>



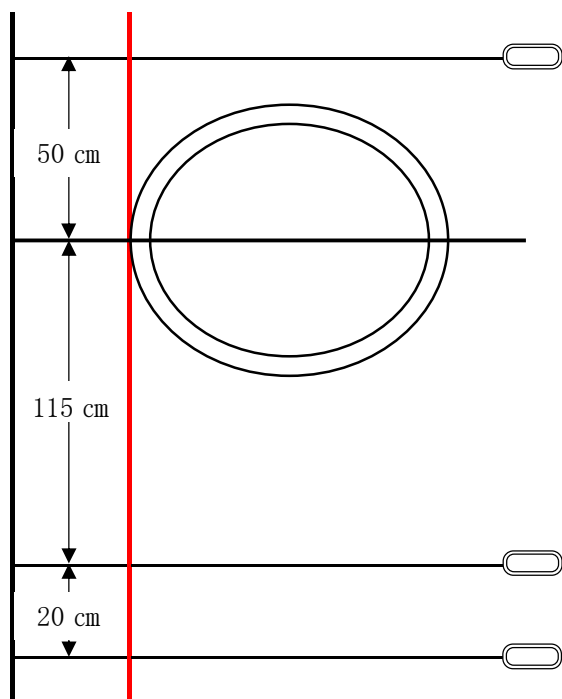
【図3】 B・C塔 <引揚救助塔上図>



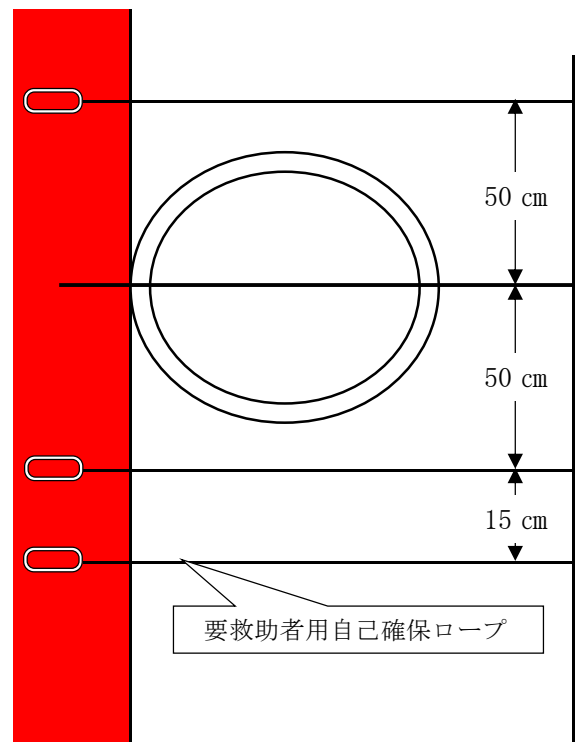
※ 実施要領『P55 施設及び用具(ア)施設 a』に記載の前面から0.5mの位置の補強用パイプ1本は設けていません。

【図4】 <ロープブリッジ救出>自己確保ロープ概要図

< B塔側 >

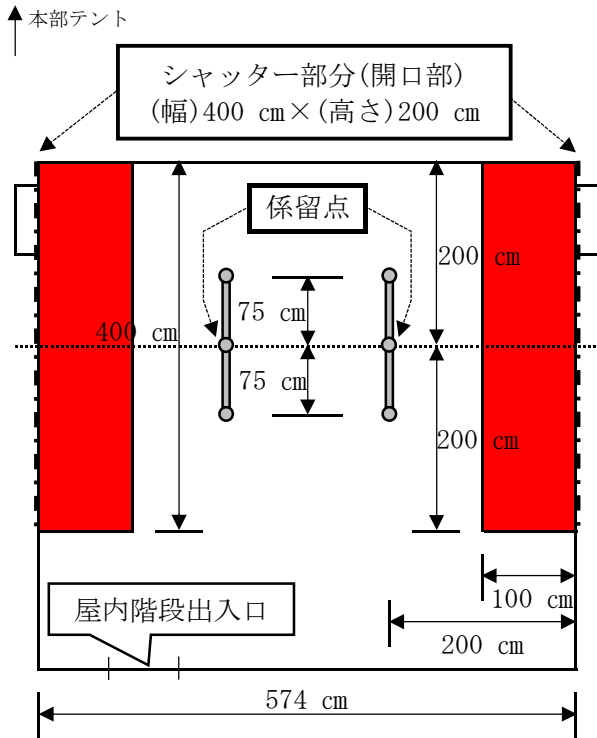


< C塔側 >

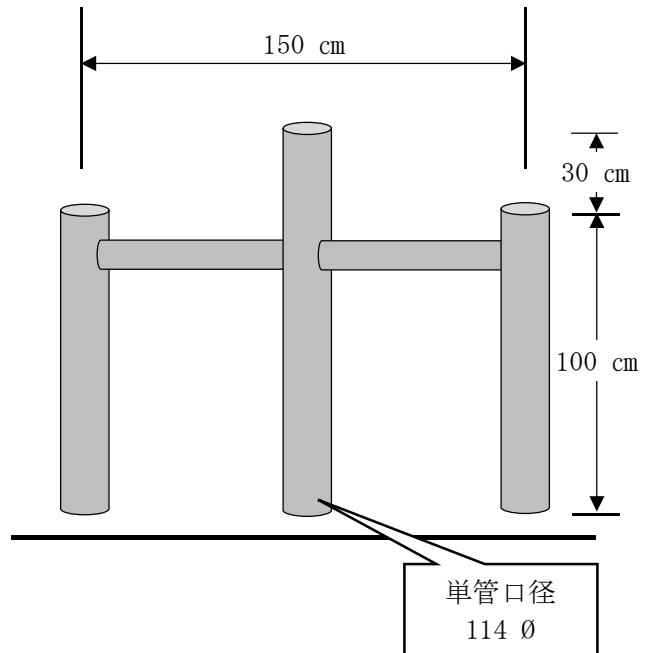


**【図5】 <障害突破> 施設配置図**

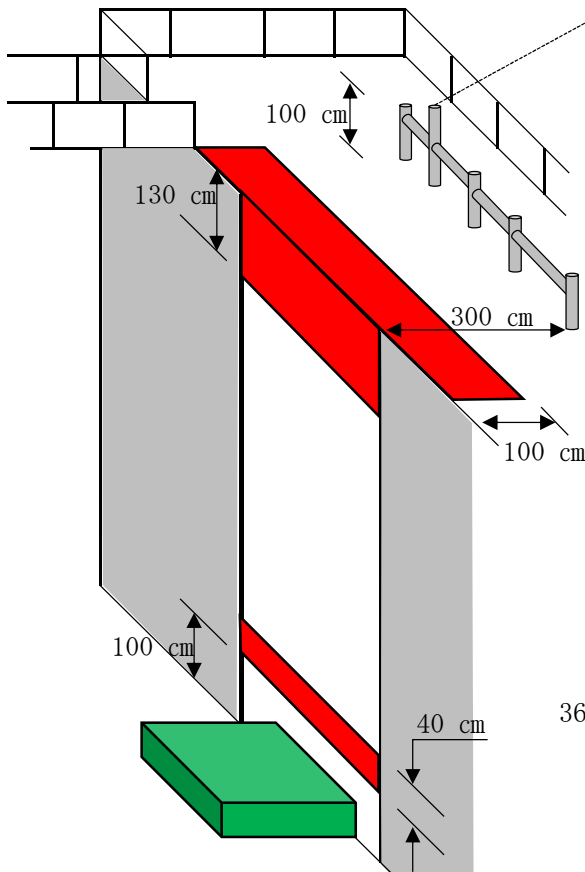
1 A塔 (平面図)



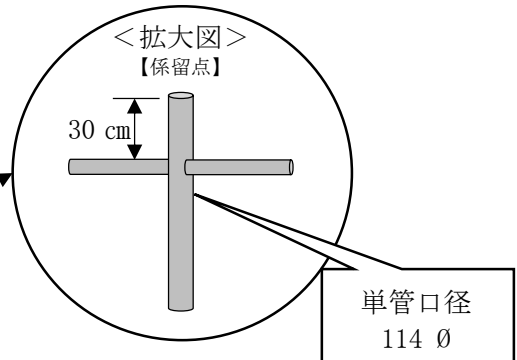
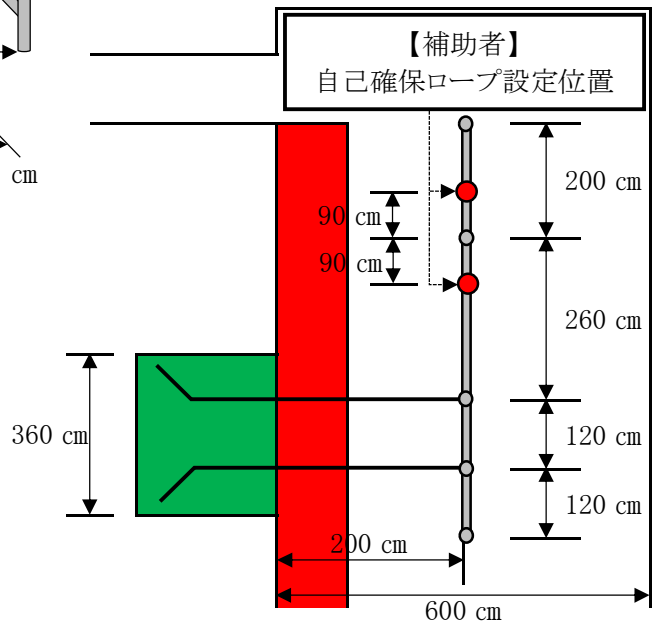
2 A塔 (係留パイプ側面図)



3 B塔上付帯施設立面図 (※C塔上も同様)

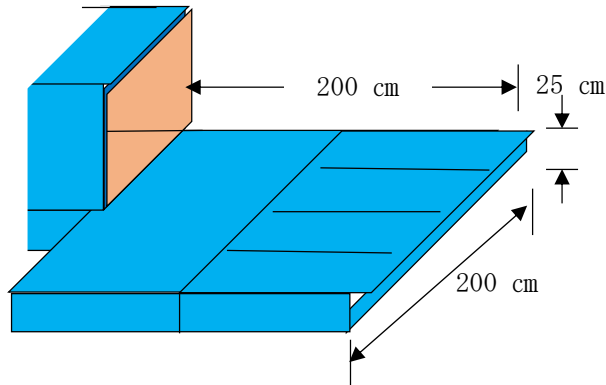


4 B塔上付帯施設平面図 (※C塔上も同様)

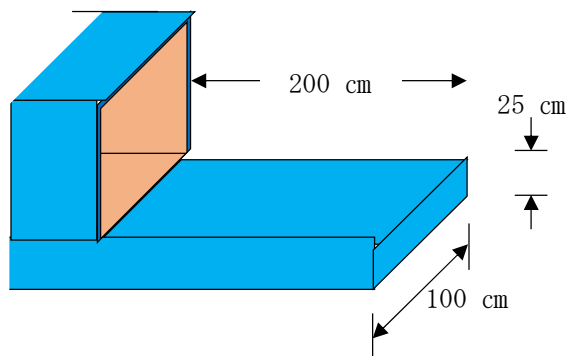


【図6】 <障害突破> 煙道概要図

<障害突破煙道入口詳細図>



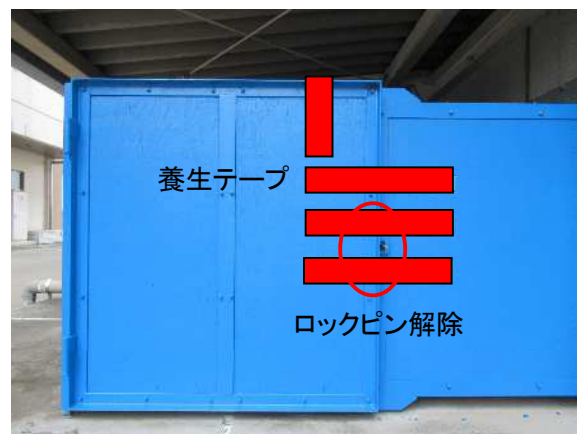
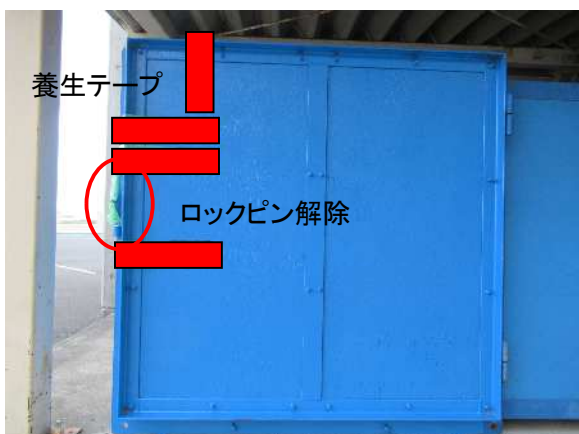
<障害突破煙道出口詳細図>



煙道の突き当り防止扉について

煙道1コーナー(1コース)  
ロックピンを外し、養生テープで固定

煙道2コーナー(1コース)  
ロックピンを外し、養生テープで固定









# 隊 員 変 更 届 出 書

審判長

都 県 名		消 防 本 部 名		都 県 連 絡 員 署 名		
陸上・水上(○印)	種 目			組	コース	
変 更 前 ( 該 当 者 の み )			変 更 後 ( 該 当 者 の み )			
背番号 (陸上)	階 級	フリガナ	背番号 (陸上)	階 級	フリガナ	生年月日 年 齢
		氏 名			氏 名	
届出責任者						
変 更 理 由						

- 注1 変更受付時間 7時30分～8時30分
- 注2 「階級」欄は、消防士は「士」、消防副士長は「副士長」、消防士長は「士長」、消防司令補は「司令補」と記入してください。
- 注3 「氏名」欄は、楷書で記入し、フリガナを付してください。
- 注4 「生年月日」欄は、次の(例)を参考に記入してください。  
 (昭和例) 昭和52年7月1日生まれ → 「S520701」  
 (平成例) 平成元年12月5日生まれ → 「H011205」
- 注5 「年齢」欄の基準日は、指導会当日(7月17日)の満年齢とします。(例) 31歳11ヶ月 → 「3111」
- 注6 棄権の場合は、変更後欄の氏名欄に「棄権」と記入してください。

配布先	受 付	進 行	招 集	審 判	集 計
担当者 ✓					

## 訓練用具借用調査票

消防本部		担当者	
都県名		役職・氏名	
消防本部名		電話番号	

訓練用具名	数量		備考
カラビナ		個	ワンツースリーカラビナ
空気呼吸器		器	
空気呼吸器用ポンペ		本	
救助用縛帯		個	引揚救助 藤井電気(株)
安全ベルト		個	障害突破・ロープブリッジ救出・引揚救助 藤井電気(株)

## 服装（同一仕様）に係る報告書

様式 5

都 県 名		担当者	課 ・ 係	
本部コード			氏 名	
消防本部名			電 話	
			F A X	
			E-mail	

訓 練 種 目 名				
訓 練 隊 員 氏 名 及 び 階 級	階 級	訓 練 隊 員 氏 名	階 級	訓 練 隊 員 氏 名

<報告の理由> ( 例 文 ) 当消防本部については、令和〇〇年〇月〇日付けで〇〇〇市消防本部並びに△△△消防本部の合併により（消防本部内の救助服の仕様の変更により）、同一仕様が図れないもの。	

備 考	※1 上記「報告理由」については、例文を参考に簡潔に記載してください。 ※2 報告していただいた内容について、開催地事務局より確認の御連絡をさせていただきます。 ※3 E-mailにて回報してください。
-----	---

### 訓練施設開放参加調査票

都県名： \_\_\_\_\_

消防本部名： \_\_\_\_\_

引率責任者	階級	氏名	連絡先	mail				
参加日	7月8日(水)、7月9日(木)のいずれか希望日を右枠に記入してください。			月 日				
参加時間	時 分 ~ 時 分							
訓練種目 及び 参加人員	種目名	種目責任者		参加人員 (参加種目)	参加チーム数 (団体種目)	乗り入れ車両		
		階級	氏名				台	
				人	チーム	大型バス		台
				人	チーム	常用車		台
				人	チーム	マイクロバス		台
				人	チーム	トラック		台
				人	チーム	合計	0	台
					人	チーム	/	
					人	チーム		
					人	チーム		
				人	チーム			
	合計種目	種目		0	人	0	チーム	
備考	※ 陸上・水上で1枚ずつ分けて作成して下さい。 ※ 1日につき1枚作成して下さい。 ※ 訓練種目が重複している隊員がいる場合はその旨御記載ください。							